

1. 次の各分の下線部には1箇所ずつ誤りがある。その番号を指摘し、正しい語句に訂正せよ。

A ①更新世は大陸と陸続きの時期が多く、北から②ナウマンゾウや③ヘラジカが日本列島に移動してきた。

B ①新石器時代の終わりごろ、大型獣にダメージを与える工夫である②細石器が東北アジアから伝播し、③槍の先端近くに埋め込んで使用された。

2. 次の文は何時代の遺跡について述べたものか。
温暖化のため海面が上昇していたので、現在では海岸から離れた地に貝塚が発見されている。

3. 縄文時代について、世界史的視点で眺めたとき、生業や各種の技術的要素の多くが西アジア等の新石器文化と一致する点として当てはまらないものを1つ選べ。

- ア 主な生業として植物栽培や牧畜が行われた。
- イ 土器の製作が各地で行われた。
- ウ 弓矢などが用いられ、狩猟活動なども継続した。
- エ 石斧などの石器に磨製技術が用いられた。

4. 以下の文の空欄に適語を入れよ。また空欄②で有名な香川県の遺跡の名称を答えよ。

農耕社会の発展とともに集落も大規模になり、まわりに濠や土塁をめぐらした【①】集落もめずらしくなかった。また弥生時代中・後期には日常の農耕生活には不便な丘陵上にも【②】集落とよばれる集落が出現した。いずれも防衛的性格の強い集落で、弥生時代が戦争の時代に入ったことを示唆している。

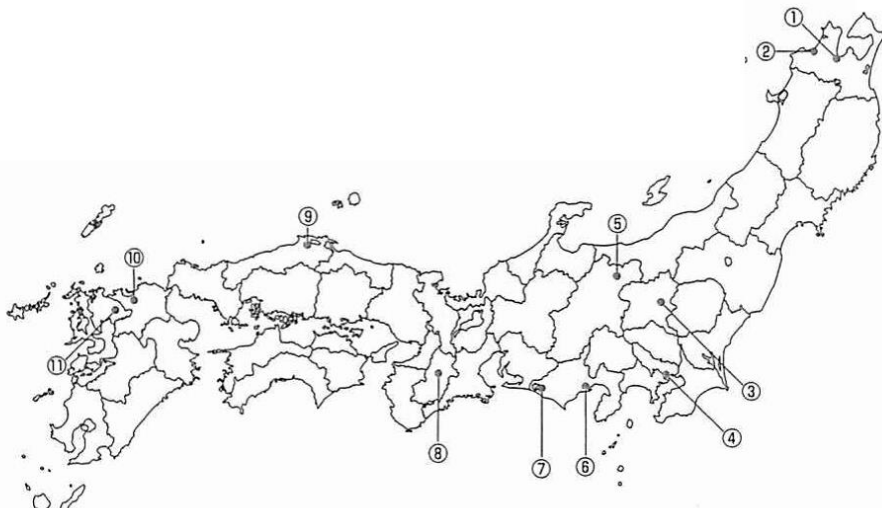
5. 弥生時代に関して、北海道や南西諸島には依然として縄文文化の性質が残る文化が継続する。南西諸島の文化は何文化と呼ばれるか。

6. 次の説明による遺跡名を答え、その位置を下にある地図上の番号で示せ。

A 1943年に発見された弥生時代後期の遺跡で、高床倉庫、畦畔、水田後などがみつまっている。

B 福岡市にある縄文時代晩期の遺跡。水田が発見され、水稲耕作の開始が知られている。

1 A	正しい語句
1 B	正しい語句
2	
3	
4 ①	
4 ②	
4 香川県の遺跡	
5	
6 A	
6 B	



採点者

得点